



多可町子育てふれあいセンター

2018年

にこにこ通信



就学前乳幼児（0～5歳児）のおられる家庭の子育て支援を行っています。
ふれあいの場、出会いの場、学びの場として、たくさんの方に利用していただきたい
と思っています。ぜひ、みなさん気軽に、遊びに来て下さいね。



自由利用について

月～金曜・土（月2回） 午前9時～午後3時

★自由に遊び来て下さいね。



「いきいき広場 4月3日」
“桜”満開の広場であそんだよ
5月は余暇村公園で遊びます
来てね！



活動あれこれ



「親子あそび 4月5日」
春の花探し・・・花額を作りました



「年度別親子活動 4月(月2回)」
今年度の活動がスタートしました
いつからでも参加できます
遊びながら情報交換もしましょう



にこにこ教室（昨年度の写真より）
集団あそびや保育体験ができる教室です・・・5月募集！！

5月 初日
1年間使う名札を作ります



9月 秋の遠足
今年はどこへ行こうかな～ お楽しみ！



3月 修了式
ひとりひとりの成長が楽しみです



子育ての不安や悩みなど、気軽に相談
ください。遊びの時でもOKです。
・・・面談希望の方は、申し込みを・・・



家庭相談員にも相談できます

子どもの成長や発達に関すること、家庭をはじめ子どもを
取りまく生活環境に対する悩みなど、子どもに関するあら
ゆる相談があれば、お気軽にご連絡ください。

こども未来課 教育委員会 電話 32-2385

☆多可町子育てふれあいセンター

＜Email＞kosodate@town.taka.lg.jp

〒677-0114 多可町八千代区仕出原 353

〈TEL/FAX〉(0795) 37-2525

5月の予定

★天候等により、活動場所・内容が変更になる場合があります。変更内容については、ホームページで、確認することができます。<http://takacho.tokyo.r-cms.jp/kosodate/>

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日
6	7 ☆いきいき広場 余暇村公園 ・古着屋たかつ子C 子育てふれあいセンター	8 ・おやこ活動 (H27) 旧中町幼稚園	9 ・食育C 八千代プラザ	10 ・おやこ活動 (H29) エーデル	11 ・古着屋たかつ子C 交流会館	12 ☆リユース会 交流会館
13 ☆子育てカーニバル アスパル	14 ・食育C 子育てふれあいセンター	15 ・おやこ活動 (H27) 「育児体験」協力 多可高校	16 ・おやこ活動 (H28) 「育児体験」協力 多可高校	17	18 ・にこにこ教室 (H24～27) 旧中町幼稚園	19 自由開放 子育てふれあいセンター
20	21 ・ぼかぼかC ・おはなしC 子育てふれあいセンター	22	23 ・おやこ活動 (H28) 旧中町幼稚園	24 ☆親子あそび エーデル芝生広場	25 ・にこにこ教室 (H24～27) 糀屋稲荷	26
27 昭和の日	28 ☆赤ちゃん広場 子育てふれあいセンター	29 ☆学習会 アスパル	30	31 ・おやこ活動 (H29) 「育児体験」協力 多可高校		

★「年度別おやこ活動」「自主サークル活動」「にこにこ教室」の内容については、在宅家庭配布の『ぼかぼかたより』をご覧ください。

活動のお知らせ

保育園・幼稚園がお休みの時は、いつでも遊びに来てね。

☆いきいき広場・・・申込不要

「公園で遊ぼう！」

と き：5月7日(月) 10:00～11:30

ところ：余暇村公園

*職員が見守る中、お子さんと自由に遊びましょう。

*雨天中止

自主サークル「古着屋たかつ子」による

☆リユース会・・・申込不要

と き：5月12日(土) 10:00～11:00

*受付開始時間 9:45

ところ：交流会館

第4回子育てカーニバル

「ふれあい・絆カーニバル ～えがおいっぱい みーつけた～」

と き：5月13日(日) 10:00～13:00

ところ：アスパル

*受付時間 9:30～9:50

春をいっぱい感じながら、元気いっぱいあそびましょう！！

地域や中高生のボランティアの方々とも、たくさんふれあいながら、ご家族で楽しい時間を過ごしてくださいね。

*詳細については、チラシをご覧ください。



☆多可高校授業協力 ……申込必要

●保健授業「育児学習」

と き： 5月15日(火)・16日(水)・31日(木)

10:30 集合 10:50～11:40

ところ： 多可高校

持ち物： お茶、母子手帳(可能な方)

●福祉授業「レクリエーション学習」

と き： 6月11日(月)

10:30 集合 10:50～11:40

ところ： 多可高校

持ち物： お茶

*ご協力よろしくお願いします。

*学食の利用が可能です。ご希望の方は、お申し込みください。

☆親子あそび…誰でも参加できます。申込不要

と き： 5月24日(木) 10:00～11:30

ところ：エーデル芝生広場(八千代区)

内 容：「芝生あそび」

*すべりあそび、ころがりあそび、など体をいっぱい使って遊びましょう。

*小さなお子さんも、のんびりと芝生の感触を楽しみながら、遊びましょう。

持ち物： お茶

【雨天時】アスファルトで遊びます。

赤ちゃん広場

申込不要

と き： 5月28日(月)

ところ： 子育てふれあいセンター

10:00～10:30 身体測定

10:30～11:00 スキンシップあそび

情報交換

11:00～ フリートーク

*誰でも参加できます。気軽にお越しください。

☆学習会 ……申込必要

と き： 5月29日(火) 10:00～11:30

ところ： アスパル

内 容：「命をみつめて

～うまれてきてくれてありがとう～」

講 師： 内山 弘子

(多可町赤十字病院助看護師長・助産師)

*命と向き合われている現場のお話から子どもの命、自分の命を大切に思える機会にしていきたいと思っています。

【申込み・問合せ】

多可町子育てふれあいセンター

37-2525



5月に読みたい絵本



「おかん」

作：平田 昌広

絵：平田 景

出版社：大日本図書

「なあ、おかん。きょうの ばんごはん なんや？」
「いま、ひる、たべたばかりやろ？ なんて ばんごはん、かんがえなあかんねん」
おかあさんって、なにを言っても言い返してくる！でも、ごはんつくってるときも、せんたくしてるときも、ちゃんとかたえてくれるんだよね！
関西弁が楽しいハートフルな絵本です。

おでかけのまえに



「おでかけのまえに」

作：筒井頼子

絵：林明子

出版社：福音館書店

今日は朝からいい天気。あやこはお父さんとお母さんとピクニックに行くのです。うれしくて待ちきれなくて一生懸命支度のお手伝いをするあやこ。絵を見た瞬間、「うぎゃっー！」と叫んでしまいそう。
あのお弁当の様子なら当然です。出かける前に次から次へとこんな…
でもこのお父さんとお母さん、怒らないのです。夢中なんだよね、彼女は。
抱きしめたくなるような絵本です。

子どもの「かんしゃく」

1歳半を過ぎると、子どもは次第に喜怒哀楽がはっきりして、手がかかるようになってきます。その中でも、特に困るのが「かんしゃく」です。

かんしゃくというのは、自分の思うようにならないと、激しく泣いたり、わめいたり、ひっくり返ったり、手足をばたばたさせることです。他人が思うようになってくれないときだけでなく、自分ができないことに対しても起こします。

かんしゃくを見ると、「すぐ感情的になる」「わがまま」と思ってしまうがちですが、かんしゃくは、子どもが成長する過程で、どうしても通らなければならないものなのです。

これは、子どもの心が成長して、自分の要求をはっきり出すようになってきたのですが、まだ周りの状況を判断できないし、自分の気持ちもうまく伝えられない、そのジレンマが、かんしゃくになるのです。ですから、子どもの心が、そこまで自己主張できるくらい育ってきた証拠なのです。

かんしゃくを起こす理由はいろいろあります。何かしてほしいとき、お母さんと一緒にいたいとき、一人でやりたいとき、眠いとき、おなかがすいたとき、疲れたとき……。

大切なことは、かんしゃくを「わがまま」「悪い子」と決めて叱るのではなく、また、かんしゃくを起こしては困るから、と子どもの言いなりになるのでもなく、子どもの気持ちを酌むことです。

人生は、確かに思うようにならないものです。しかし、その悲しい気持ち、つらい気持ちを親にわかってもらうだけで、子どもは、その気持ちを受け入れ、乗り越えることができるようになります。

「嫌だったんだね」「自分で、どうしてもしたいんだね」と、子どもの気持ちを酌んでやり、抱っこしてやると、次第にかんしゃくも治まってきます。

それによって、自分はお母さんに大切にされているという心の安心も生まれますし、また、人の気持ちを酌むという、思いやりが育つ土台にもなるのです。

イヤイヤ期のわがまま

どこまで許していいの？どこから叱ったらいいの？

「イヤイヤ期」は、子どもの心が健全に成長して、自己主張を始めた証拠なので、喜ぶべきことなのですが、そうはいても、毎日毎日、つきあうのはほんとうに大変です。

どこまで言って聞かせればいいのか、どこまで許していいのか、わからなくなることもしばしばです。

ただ、2歳児は、本来、ルールやきまりは、まだ守れないものです。ですから、細かいしつけは不可能です。それを無理に教えようとすると、ついつい強い口調で叱ってばかりになります。

止めなければならないことは、「危険なこと」「人を傷つけること」「生活のリズムが崩れること」この3つだけ。

それ以外は成長とともに少しずつできるようになればいい、程度に考えて、あまり強く言わなくてもいいと思います。